

るに駱駝のみは好んで木葉を食ひ、又好んで鹹水を飲み、艱苦缺乏に堪へて七八日間飲食を斷つも尙ほ且つ使用し得べし、之れを沙漠の船と稱するの信然なるを覺ゆると共に、熟天の配劑の巧妙なるに感ずんせばあらざるなり。

沙漠旅行は、宛然航海と同じく、其の行進方向を誤まらざるやう、深く注意を怠るべからず。沙漠は通例夜行を常とするが故に予が雇傭せる馬夫の如きは、常に此を往復し、沙漠の狀況を知悉せるに拘らず屢路を失して困難せしこと有り、然れども其の道路は部落より部落に到る間、殆んど一直線に設置せらるゝもの多く且つ路側には電柱併列し在るに因り好箇の棗と爲し、之れが爲め幸に苦境を脱するを得たり、又距離の目測は頗る至難にして概ね近距離に誤測したるを常とす。

然らは何故に晝間の旅行を措きて、夜間の行進を爲すか其の理由は左に之を説かん。

### 七 沙漠は夜行を要す

沙漠を通過するには夏季は勿論、冬季と雖も夜行を常とす、之れを晝間の行進と比較すれば大約左の利益あり。